

令和五年度中国四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会に参加して

医学系部門 基礎社会医学班 中谷 宣弘

1. はじめに（目的等）

本会は中国四国地区国立大学法人における技術職員対象のマネジメント研究会で、例年各県が持ち回りで主催しているが、コロナ禍のため久しぶりのオンラインでの開催となった。マネジメント教育として中堅以上の技術職員が参加し、昨今の技術職員を取り巻く状況や、今後に向けての課題などを話し合う中で、近隣県職員間の交流も深めていこうとする会である。

2. 期間・場所

期間：2023年8月24日（木）～25日（金）

場所：香川県高松市 香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア

3. 参加者等

中四国地区の国立大学、高専の技術職員 約50名

4. 研修内容

研究会は二日間によって行われ、国立大学系技術職員の歴史的背景や現状・今後についての講演、主催者（香川大学と香川県の高専2校）の技術支援内容の紹介、事前に持ち寄ったアンケートを使用しているグループワークによるポスターの作製と発表などが行われた。

5. まとめと感想

本会は10年以上継続して開催されている会であるが、今回初めての参加となった。講演が2日間で4演題、それに加えて上述したグループワークを行った。面識の無い者同士5名1組となり、事前アンケートで持ち寄った技術職員に関する諸問題などを各自が発表し、それをグループとしての意見としてまとめ、短時間でポスターに仕上げ発表するといった内容だった。このグループワークは非常に印象深いものであった。グループ内ではなるべく積極的に発言するよう心掛け、出来上がったポスターの発表役も担当した。グループワークの各作業の時間設定に少し無理があり、仕上げや発表が中途半端になった感があり少し残念だったが、企画自体は非常に良いもので、多くの人と言葉を交わす良い機会になった。本会は各県の持ち回りで、数年後には本学がホストになるとのことなので、その際には微力ながらも準備から協力したいと思った。